



はまお

◎発行／福岡県立香椎工業高校 PTA 調査広報委員会

◎印刷／城島印刷株式会社

平成31年3月1日

Vol.63
2019 March

心が変われば、
人生が変わる

校長 諸田 敦浩



さらなる成長を。

PTA 会長 狩野 浩治

三年生の皆さん、卒業、おめでとうございます。また、三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。三年にわたり本校の教育活動を支えてください、誠にありがとうございました。

皆さんの新たな出発にあたって、はなむけの言葉を贈ります。

心が変われば態度が変わる。

態度が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。

人格が変われば運命が変わる。

運命が変われば人生が変わる。

これはニューヨーク・ヤンkeesの松井秀喜選手が星稜高校時代に、野球部の山下監督からおくられたという言葉で、松井選手が座右の銘としていたことでも有名です。

卒業生の皆さんには、これから長い人生において様々な局面に立たされることがあるでしょう。先行きが不透明な時代ではあります、皆さんには明日の社会を担う高い能力と若さがあります。皆さんがこれから的人生を心身ともに健やかに過ごせるよう、心から祈念いたします。



一年間、学校行事や生徒の活動が充実したものになったことは、ひとえに PTA 会員の皆様のご理解あってのことと、深く御礼申し上げます。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

本校での三年間、様々な出会いや経験があったことだと思います。その中で多くの人に助けられたことでしょう。

社会に出てからも、多くの人との出会いがあります。深く関わりを持つことで様々な価値観や考え方を知り、そして人はさらに成長することができます。

出会いは財産です。人としてさらに成長できるよう皆さんも出会いを大切に、楽しく充実した日々を送ってください。



PTA 活動を終えて



進路対策委員長 穴井留美子

一番下の子供が香椎工業高校にお世話になりました。私は進路対策委員として3年間務めさせていただきましたが一番好きな学校です。正直楽しい委員生活がこれで終わるとおもうとしてもさみしいです。PTA一日研修も無事に終えることができたのも皆さまの御協力があったからだと思います。

卒業しても学校の発展を心より願っております。3年間ありがとうございました。

PTA 活動を振り返って



健全育成委員長 岩佐はるか

健全育成委員会の主な活動は朝の挨拶運動です。今年度はそれに加え香椎駅でのマナーアップキャンペーンのも参加してきました。先生方、生徒会メンバーたちと共に挨拶や声かけ等、とても貴重で有意義な時間を過ごすことができたと思います。

PTA活動を通して学校行事に関わらせていただいた事、また委員としてたくさんの方と楽しく活動できた事に感謝しています。

委員会活動を終えて。



調査広報委員長 伊藤 博美

今年度も、先生方や保護者の皆様に楽しく見てもらう広報紙を目標として、一年間活動してきました。

広報委員のみなさんや先生、たくさんの方々に協力していただき、年3回の「はまお」を発行できた事、とても感謝しております。

ありがとうございました。



修学旅行を終えて

第2学年主任 花田 哲章

1月22日(火)から25日(金)まで、高校生活の一大イベントである修学旅行が行われました。今年度は、2学年在籍者数276名中、1名だけが出発日前日にインフルエンザにかかり、参加することはできませんでしたが、参加者275名誰一人として怪我やインフルエンザ等の通院をする病気にかかることなく、大きな事故やトラブルもありませんでした。この事は私の教師生活の経験上初め

ての出来事です。

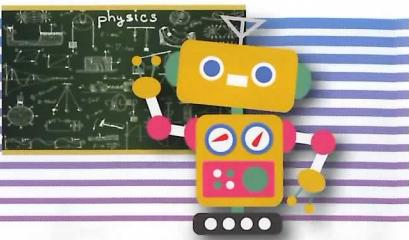
札幌で渋滞に巻き込まれ、班別行動も時間短縮などのトラブルにも生徒諸君は臨機応変に対応してくれました。集団生活のルールを守り、人に迷惑をかけないで、旅行団全体としての良き思い出を作るという目的を達成できました。今回の旅行が大成功に終わることができたのは、学年全員が一人一人自覚をして行動した事と、保護者の皆様のご理解とご協力があったからです。

今回の修学旅行で深まった、学年・クラス・友達との絆を胸に、修学旅行で得た経験を生かして、これから一層活躍してくれると思います。



公開授業 2018

11.15



測定

旋盤で段付き削り作業をしている場面です。
測定しながら、寸法を合わせる練習をしています。



仕上げ

キーホルダーの加工仕上げをしています。

完成

完成したキーホルダーです。
上手にできました。



デザイン

PCでキーホルダーのデザインをプログラミングするところです!!



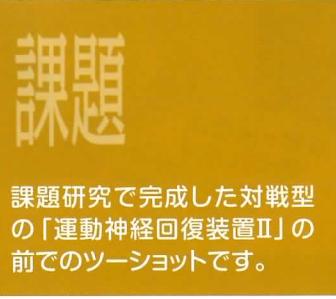
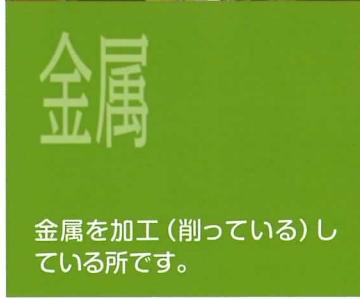
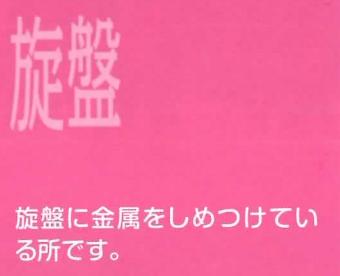
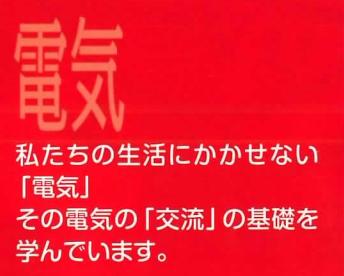
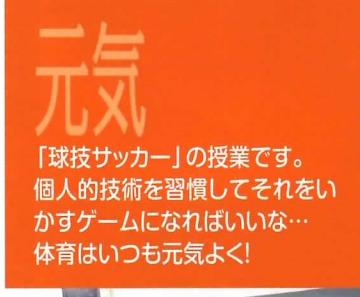
制御

エレベーターや信号機などの制御に利用されている「シーケンス制御」の勉強をしています。



削る

加工（金属を削る作業）の手順について説明を聞いています。



マラソン大会

大気豚汁 in 駕与丁公園

平成最後の
マラソン大会
2019.2.1



2年



1年



今年のマラソン大会は好天に恵まれ開催されました。

駕与丁公園のランニングコースは一周約4.2195kmとなつており、フルマラソンの10分の1です。男子生徒は2周、女子生徒は1周しました。

寒さにも負けず、元気に完走しました。

第55回

卒業生

歓迎遠足

体育祭

香工祭

電気科1組

電気科2組

機械科1組







酵素によるエタノールの生成について

工業化学科3年1組

日本はもとより世界各地で古くから発酵によりエタノールの製造が行われてきました。その多くは酒として消費されてきましたが、近年ではその利用も様々な用途で使われるようになってきました。そこで私たちはスーパーで購入できるデンプンやグラニュー糖、黒砂糖などからエタノールを生成しました。また得られたエタノール濃度をガスクロマトグラフ装置で正確に測定し材料の違いにより収率の差を比較しました。

鋳造による国宝観世音寺の梵鐘の再現

機械科3年1組

就職先にもある鉄鋼業界は自動車、建設、家電等にも多くの需要があり、産業の基盤になっています。鋳造を学ぶことでできた国宝の梵鐘を再現し、鋳造の文化に触れることを目的として研究を進めました。

研究内容としては1つ目に観世音寺の梵鐘を再現するため鋳造の基礎を学ぶこと、2つ目に再現のために技法の研究と調査することでした。実際に観世音寺に行き住職さんにお話しをお伺い再現のヒントを得ました。3つ目は実際に鋳造を行い国宝再現に取り組みました。再現性はまだ低く次年度への課題が残りました。しかし、鋳造に親しみ金属に興味を持ちました。



自立型ドローン制御システムの構築

情報技術科3年1組

本研究は、生徒が培ってきた情報技術に関する知識、技術の集大成として、ホビー用のドローンを、自立型へと発展させるためのシステム構築に挑戦したものです。マイコン Raspberry Pi をサーバ側（ドローン）とクライアント側（コントローラー）に搭載し、両者のwifi通信によるセンサ情報をもとに制御し、自立安定飛行させることができました。

実際的な応用への足掛かりとなる成果が得られたと考えます。

サボニウス型風力発電機の研究

電気科3年1組

風を活用した風力発電機は、環境への影響の少なさや資源である風が無限にあることから、近年自然エネルギーを活用した発電機として注目されています。そこで私たちは、自転車のライトに使われているハブダイナモと呼ばれる部品を使い、風を受けてハブダイナモが回転することで発電する風力発電機の製作に取り組みました。製作を通して、私たちは協力することで一つのものを作り上げることの難しさと、風力発電機の羽根の仕組みを学ぶことができました。

音声認識を用いたモニター制御の研究

電子機械科3年1組

電子機械科で学んだ設計や電子回路、情報技術の知識を生かし、最近の家電のように音声で操作できるものを自分たちで製作出来るか挑戦しました。形として音声コントロールバーを目指したので、どのように音声でモータに信号を伝えるかなどわからないことばかりでしたが、班員の力を合わせて課題を解決していきました。まだまだ改良が必要ですが、当初の目的を達成できました。改めてものづくりの楽しさを感じることができました。



本年度の進路振り返って

進路指導部長 後田 保



本年度も昨年度に引き続き、業績好調な製造業の他に人手不足が深刻化している建設・流通業やサービス業等の非製造業の採用意欲の高さが目立ちました。

本校の求人状況も1月31日現在で求人企業数1350社、この内、工業（生産）に関する企業は895社で、昨年度より13%ほど増えました。公務員を除く就職希望者（学校推薦）は218名で、就職試験1次合格率は91.3%となり、過去27年間で最高の合格率を達成しました。公務員への就職も国家公務員や県警等に複数合格すること

ができ、幅広い職種の進路決定が実現しました。ここ数年の大量採用の傾向は来年度も続くことが予想されますので、企業が求める「行動力・積極性・責任感」を持った人材になれるよう努力してほしいと思います。

進学に関しては、大学9名、専門学校等に22名合格しています。残念ながら、国立大学および国立高専編入者合格がいませんでした。今後、推薦入試で学科試験を実施する大学等が増えてきますので、合格に向けて、学力向上と面接・作文指導の強化を図り、受験体制を充実させたいと思います。

来年度も就職内定100%と全生徒進路先決定へ向けて、全力で取り組んでいきます。

編集後記

平成最後の「はまお」、無事最終号の発行を迎えることができました。「はまお見たよ」「良かったよ」の言葉をたくさん頂き広報委員の活動の励みとなりました。

皆様のご協力ありがとうございました。今後の「はまお」も引き続きよろしくお願いいたします。

最後に卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。